

## スクリーニング質問票(SQD)

被災後は生活の変化が大きく、様々な負担(ストレス)を感じるものが長く続くものです。

この質問票は、被災した住民を対象に精神的な問題がないかをスクリーニングするためのものです。

### 実施方法

いきなり質問をするのではなく、世間話をするなど自然な流れの中で使用すべきものです。項目数は多く感じるかもしれませんが、実際に施行してみると10分以内で終わることができます。なお、質問の内容は、相手の理解しやすいように言い回しを変えても問題ありません。

判定基準を満たす場合は、リスクが高く、継続した関与あるいは、専門スタッフへの紹介が必要であることを示します。しかし、質問にきちんと答えていなかったり、抵抗や否認が強い場合などは、必ずしも基準に満たない場合があります。答えるときの態度や会話の内容などから、問題を感じた時は、専門スタッフと検討すべきでしょう。

### 採点方法

「はい」と回答した場合に、右の再展覧の◎または○のついている欄に印をつけます。

判断基準は下記のとおりですが、診断を意味するものではありません。

#### 《判定》

P 欄の◎と○が 5 以上、◎が 1 以上⇒PTSD を疑う

D 欄の◎と○が 4 以上、◎が 1 以上⇒うつ病を疑う

## スクリーニング質問票(SQD)

記入日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

お名前 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ 歳

住 所 \_\_\_\_\_ /連絡先 \_\_\_\_\_

最近 1 か月間に今からお聞きするようなことがありましたか。

	質問項目	回答		採点	
		はい	いいえ	P	D
1	食欲はどうですか。普段と比べて減ったり、増えたりしていますか。				○
2	いつも疲れやすく、身体がだるいですか。				○
3	睡眠はどうですか。寝つけなかったり、途中で目が覚めることが多いですか。			○	○
4	災害に関する不快な夢を見ることがありますか。			◎	
5	憂鬱で気分が沈みがちですか。				◎
6	イライラしたり、怒りっぽくなっていますか。			○	○
7	ささいな音や揺れに、過敏に反応してしまうことがありますか。			○	
8	災害を思い出させるような場所や人、話題などを避けてしまうことがありますか。			○	
9	思い出したくないのに災害のことを思い出すことはありますか。			◎	
10	以前は楽しんでいたことが楽しめなくなっていますか。			○	◎
11	何かのきっかけで、災害を思い出して気持ちが動揺することはありますか。			◎	
12	災害についてはもう考えないようにしたり、忘れようと努力していますか。			○	

引用: 金吉晴編「心的トラウマの理解とケア」第2版 じほう2006



